

◇きのこプロジェクト（きのこP）とは

新得町と町内のダムを管理するダム事業者が協力し、町の名産のひとつである「原木しいたけ」と「ダム」をキーワードに、新得町と原木しいたけの知名度を一層上げることを目的とした取組。

各ダム事業者（帯広開発建設部、十勝総合振興局、北海道電力（株）、電源開発（株））は、ダム施設で栽培している原木しいたけの出来映えを2025年9月に開催された「しんとく新そば祭り」で競い合いました。

↓2026年十勝ダムの第1号しいたけ



本年もどうぞよろしくお願いいたします

きのこP通信

第8号

発行：2026年1月
帯広開発建設部
地域連携課

「きのこP通信」はきのこプロジェクトチームの活動を発信するものです。



←きのこP通信は、HPに掲載中です

年末に開催された“日本ダムアワード”できのこPが紹介されました。（次頁で紹介）
昨年はきのこPの「認知度向上」の機会をたくさん与えていただき、感謝します。



各ダムの原木は、今回の発生時期に備え、休養期間に入りました。
しばらくは原木に変化がないことを確認する、という時間を過ごすのかと
思っていたところ、年明けに十勝ダムの原木から一つだけしいたけが生えまし
た。
相変わらず発生タイミングは読めま
せんが、しいたけが生えることはとても
嬉しい出来事で、今年は縁起が良い年
になる予感がします。

明けましておめでとーございませう。

今年もきのこPチームは、真面目に楽しく活動して参ります。



各ダム

しいたけ担当者 2026年の抱負

富村ダム・岩松ダム／北海道電力（株）

菌育ち
きのこ育てて
新得興する

2026年は、きのこ栽培と地域活動をさらに深め、きのこプロジェクトメンバーとともに新しい挑戦と楽しさを育てていく1年にしたいです。

担当者K

十勝ダム／帯広開発建設部

しいたけの
大量発生で
困りたい

去年は、とにかく「発生（はやす）」という言葉を意識した1年でした。
今年は、たくさん発生させて各ダムのしいたけの食べ比べをしたいです。「十勝ダムのしいたけが、見た目も味も一番だわ♥️」と密かに思っています…（^^）/

担当者T

佐幌ダム／十勝総合振興局

今年こそ、1mmでもいいので生えてくるようにがんばります！
あわよくば優勝もあるかも…

※実はラップ調♪
佐幌産（さん）
三（さん）位を脱し
一位参（さん）上

三佐幌産
一位参上

担当者K

屈足ダム／J-POWER電源開発（株）

屈足ダムの横坑内は年間を通じて気温・湿度が一定。栽培には適していると思うのですが、なかなか思うように育たないものですね。金（菌）賞を頂きましたけれども。

来年は、きのこパーティーができるほどの収穫を目指します。
個人的には、みそマヨ和えが好み。

担当者M

初夢は
きのこづくしの
夢を見るかも

日本ダムアワード2025 ~イベント賞部門にきのこP登場!~

日本ダムアワード(以下、ダムアワード)って知っていますか?。ダムファンの間では有名なイベントです。(※左下欄を参照)ダムアワードが12月に開催され、イベント賞部門できのこPの活動が紹介されました。紹介してくれたのは、9月の「しんとく新そば祭り」に来てくれたダムマイスターの佳さんです。(きのこP通信第5号に掲載)当日の会場の様子など、佳さんに教えてもらいました。

きのこP通信担当者 (佳) ダムマイスター佳さん

きのこPを日本ダムアワードで紹介してくれることになったポイントは?

異なるダム管理者がダムでしいたけを育て、出来映えを競い合う!と知り、絶対面白いと思い、取材に行きました。取材をしたのは「しんとく新そば祭り」の会場ですが、ダム管理者の皆さんが投票を呼びかけているところを見て感動しました。皆さん、とても楽しそうでした。

きのこPの紹介をしているときのダムアワードの会場の雰囲気は?

十勝ダムの小さなしいたけが取れた時には笑いが、屈足ダムの立派なしいたけが現れたときにはどよめきが起きて盛り上がっていました。

佳さんにとって日本ダムアワードとは?

2016年から毎年登壇し今回は10回目なので、もう年末=ダムアワードになっています。ダム好きとしてダムを讚えることが出来る場があることは幸せだと思っています。ダム管理者のモチベーションアップに貢献できると嬉しいです。

きのこPチームのモチベーションはアップしました(^ ^)

佳さんは、2017年1月から「月刊丸山ダム」を発行中。丸山ダムや、新丸山ダムの工事の様子を季節の移り変わる様子とともに発信しています。

(「月刊丸山ダム」は、中部地方整備局新丸山ダム工事事務所のHPに掲載中)

佳さんは、「夜に撮影をしていたところ、通行人に通報され職務質問を受けた」ことがあるとか・・・(笑)

そんな佳さんを夢中♥にさせる「丸山ダム」をご紹介



→佳さん撮影虹が!

↑「月刊丸山ダム」に掲載

※日本ダムアワードとは・・・

2013年から年に1度開催されている、ダムファンによるダム版アカデミー賞。

1年間のダムの活躍を振り返り、ダムファン有志による実行委員が様々な角度から活躍したダムをノミネート。実行委員と観客の皆さんによる投票で各部門で今年もっとも印象に残る働きをしたダムを選出し、その功績を讚えよう、というイベント。

～2025年の各賞の受賞ダム～

- ・ダム大賞:胆沢ダム(岩手県/国土交通省)
- ・放流賞:大井ダム(岐阜県/関西電力)
- ・低水管理賞:胆沢ダム(岩手県/国土交通省)
- ・イベント賞:殿ダム(鳥取県/国土交通省)
- ・洪水調節賞:緑川ダム(熊本県/国土交通省)

[JAPAN DAM AWARD HPを参考に作成]

編集後記

「月刊丸山ダム」に掲載されている写真は、被写体は同じでも毎回異なる印象を与えてくれます。

撮影季節が異なるのはもちろん、時間帯によってもダムが見せる表情は違うのかもしれない。佳さんの「ダム愛(熱)」が、色々な表情を引き出している、とも思えます。

無論、夜の丸山ダムの写真も素敵です(^ ^) 担当者T

まるやま 丸山ダム

丸山ダムは、2026年に工事完成70周年を迎える洪水調節や発電を行う多目的ダムです。下流域に大きな被害をもたらした台風10号による1983年豪雨災害や、1994年のような渇水にも対応するため、現在丸山ダムでは、嵩上げによる機能アップを図る再生事業が進められています。丸山ダムは新丸山ダムに生まれ変わります。

【ダム情報】

位置 左岸:岐阜県可児郡御嵩町小和沢
右岸:岐阜県加茂郡八百津町八百津
河川名 木曾川水系木曾川
型式 重力式コンクリートダム
堤高 98.2m →118.4m
堤頂長 260m →340.6m
総貯水容量 7,952万m³ →13,135万m³
洪水調節容量 2,017万m³ → 7,200万m³
着工/完成 1943年/1956年 → 2021年/2036年
管理者 国土交通省

※→は新丸山ダムの情報(予定)